

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	キッズアミ	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 村田 晃	定員（利用人数）：	19（19）名
所在地：	233-0003 神奈川県横浜市港南区港南3-34-15		
TEL：	045-846-0131	ホームページ：	http://www.muronokids-ninteikodomoen.jp/kids-ami
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2019年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	学校法人北見学園		
職員数	常勤職員： 6名	非常勤職員：	0名
専門職員	保育士 6名	栄養士	1名
	看護師 0名	調理員	2名
	事務員 0名		
施設・設備の概要	居室数 保育室3室、給食室、事務室(医務室)、子育て支援スペース	設備等	連携園園庭、駐車場、駐輪場

③理念・基本方針

教育保育理念

「生きる力」 「心の教育」 「小学校就学前教育」

教育目標

「恵まれた自然環境の中で、健康な身体と豊かな心を育てる」
「たくさんの体験を通して、やりとげる力、考える力を培う」
「のびのびと遊ぶ中で豊かな人間関係を育む」

保育目標

〈健やかにのびのびと育つ〉
〈身近な人と気持ちを通じ合う〉
〈身近なものに関わり感性が育つ〉
〈基本的な生活習慣の自立〉

④施設・事業所の特徴的な取組

キッズアミは学校法人北見学園が運営する0～2歳児を対象とした小規模保育所です。園内は採光が良く広々としており、子どもたちは職員に見守られながらゆったりと過ごしています。保育室は年齢別に分かれており、子どもが安全に安心して遊び込めるように環境が整えられています。子どもの成長や発達に合わせて手触りや音を楽しめるおもちゃ、人形、ままごと、電車のおもちゃ、パズル、製作遊び、絵本などが用意されており、一人ひとりの子どもが興味のあるおもちゃを手にとって遊び込み、その姿を職員がそばに付いて見守っています。また、子どもの表情や発する言葉には応答的にかかわり、愛着関係を育んでいます。

戸外遊びでは、系列の認定こども園の園庭や畑に出かけています。園庭では日なたぼっこや砂場遊びをして過ごすほか、系列園の子どもたちと一緒に遊ぶ機会も設けられ、異年齢同士の交流もあります。また、園庭では春に咲き誇る桜、畑では冬に色づく夏みかんなど四季折々の自然に触れています。キッズアミの2歳児のほとんどが、卒園後にこの系列園に進級しているため、日常的に園庭や畑を訪れ系列園の子どもたちと遊ぶ体験を持つことで、スムーズな進級につながっています。

園には業務マニュアルが整備されており、子どもの人権に配慮した保育、環境整備、乳幼児における留意点、衛生管理、危険予防など多岐にわたる事項にガイドラインを定め、園業務の質を確保しています。これらを踏まえたうえで、職員は朝礼での申し送りや日頃の話し合いを通して、子ども一人ひとりの理解と情報共有の徹底を図っています。そして、その子どもの個性に合った丁寧な保育をしていくことを職員間の共通認識とし、その実践に努めています。園全体で子ども一人ひとりの育ちを見守っているため、保護者にとっては、どの職員からもわが子の園での様子を聞くことができ、職員への信頼も厚く、良好な関係が構築されています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年7月1日（契約日）～ 2024年3月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆安全で好奇心を満たす環境と職員との愛着関係が子どもの育ちを支えています

安全に配慮したうえで子どもの好奇心を満たすような環境が用意され、子ども一人ひとりを尊重し個性を大切に保育を行っています。壁一面の大きな窓からは車の往来がよく見え、子どもたちの毎日の楽しみとなっています。保育室には年齢や発達に合ったおもちゃが用意され、職員は子どもが自ら選んだおもちゃで遊び込む姿を見守り、応答的な関わりを通じて愛着関係を育んでいます。近隣にある系列園の園庭では、異年齢の子ども同士で遊ぶ体験もしています。基本的な生活習慣の習得においては、何より子どもの気持ちを尊重しています。このような環境づくりと子ども一人ひとりを尊重した丁寧な関わりが、子どもの健やかな育ちにつながっています。

◆職員間の丁寧な話し合いが子どもの理解と保護者の信頼につながっています

0～2歳児を預かる小規模保育所の特性を生かし、職員全員が一人ひとりの子どもの理解に努めています。子どもの情報を共有し個別の配慮などを話し合う機会も多く、朝礼や職員会議のほか、喫緊の対応を要する際には保育責任者の声かけのもとに速やかに話し合いがなされています。また、職員研修にはシフトを調整し全員が受講できるなど、保育の質向上にも意欲的に取り組み、学び得たものは保育に生かしています。登降園時には、どの職員からも保護者へ子どもの様子を伝えられるようにし、相談事には寄り添い一緒に考える姿勢を示しています。保護者の職員への信頼も厚く、園全体の風通しも良く、利用者調査では満足度の高い結果が得られました。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して5年目を迎え、初めて第三者評価を受審させていただきました。
今回の受審において保育施設の運営に関わる様々な点や組織における振り返りを行う良い機会を得ることが出来ました。
聞き取りや助言、評価結果に基づいた客観的な改善コメントを頂くことにより、今後より良い保育を行う上での具体的な示唆となり、施設全体でより質の高い保育を実践していくためには何をすべきなのか、問題点を分析していく所存でございます。
保護者の方々にはお忙しいところアンケートにご協力をいただきましたこと、また、評価者の皆様には多くの評価・御指導をいただきまして誠にありがとうございました。
これからも子ども達、保護者の方、地域の皆様にとって、安心して過ごせる園を目指していきたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり